

久留米大学では、受診時に患者さんから取得された試料と診療情報等を使用して下記の研究を行っています。本研究で使用される試料・診療情報等は他機関への提供は行いません。

なお、下記研究は久留米大学の倫理委員会にて「社会的に重要性が高い研究」等の特段の理由が認められ、研究機関長の承認を得て実施しています。当該試料・診療情報等の使用については、研究計画書に従って匿名化处理が行われており、研究対象者の氏名や住所等が特定できないよう安全管理措置を講じた取り扱いを厳守しています。本研究に関する詳しい情報をご希望でしたら問い合わせ担当者まで直接ご連絡下さい。また、本研究の成果は学会や論文等で公表される可能性があります。個人が特定される情報は一切公開しません。本研究の研究対象者に該当すると思われる方又はその代理人の方の中で試料・診療情報等が使用されることについてご了承頂けない場合は担当者にご連絡ください。なお、その申出は研究成果の公表前までの受付となりますのでご了承願います。

【研究課題名】 膵癌における EUS-FNA の診断能と問題点についての検討

【試料・診療情報の対象者（研究対象者）】

- 1) 受診期間：2010年1月1日から2019年12月31日の間に受診
- 2) 受診科：久留米大学病院 消化器内科、外科
- 3) 対象疾患名：膵癌を疑われ、診断目的で超音波内視鏡下組織診、細胞診（EUS-FNA）が行われた方

【試料・診療情報等の項目】

試料：【内視鏡的診断目的に採取された細胞診標本及び組織標本】

診療情報等：【年齢、性別、身長・体重、病歴、既往歴、治療歴、血液検査データ（一般血算、生化学、腫瘍マーカー）、画像データ（CT, MRI, US, PET）、病理データ

【研究目的】膵癌に対する超音波内視鏡下吸引組織診細胞診（EUS-FNA）は治療前の病理学的確定診断を得る手技として、近年本邦でも普及してきました。一方、膵癌取り扱い規約では切除可否分類が示され、今後は化学療法導入例の増加とともに、治療前の確定診断目的で EUS-FNA 施行例が増えると考えられます。膵癌診療ガイドラインにおいても治療前の組織学的診断は推奨されていますが、最近では EUS-FNA による偶発症も危惧されている状況です。今回我々は、膵癌における EUS-FNA の成績と問題点を明らかにするために当院症例を retrospective に検討します。

【研究（利用）期間】久留米大学倫理委員会承認後から2024年3月まで

【利益相反に関する事項】本研究は特定企業からの資金援助はないため利益相反は発生しません

【問い合わせ先】

研究責任者（使用する試料・情報の管理責任者）：

久留米大学医学部 内科学講座 消化器内科部門 准教授 岡部 義信

問い合わせ担当者：久留米大学医学部内科学講座 消化器内科部門 安元 真希子

電話：0942-31-7561